

ひゃくにちせき 百日咳が発生しています

ひゃくにちせき 百日咳とは

咳やくしゃみなどのしぶきや痰に含まれるに細菌によって感染（飛まつ・接触感染）します。

風邪の症状で始まり、徐々に咳の回数が増え、咳が激しくなります。激しい咳は徐々におさまりますが、時折、発作性の咳がでます。

小さいお子様が感染すると、重症化し亡くなってしまうこともあります。

大人では、咳が続きますが、軽い症状の場合が多く、受診・診断が遅れ、気づかないうちにワクチン未接種の乳幼児への感染源になることが問題です。

予防のポイント

【予防接種】

百日咳のワクチンは4種混合ワクチンとして、生後3か月から接種できます。接種がお済みでないお子様は早めに接種しましょう。

【早めの受診】

咳が1週間以上長引いている（咳き込みが続く）、笛の音のような咳をする等、感染が疑われる場合は、速やかに受診しましょう。医療機関を受診し、適切な抗菌薬を飲めば治ります。

【咳エチケット】

周りの人にうつさないようにするためにも、咳エチケットに心がけましょう。

咳・くしゃみがある時は、マスクを着用する
ティッシュなどで口や鼻をおおう
とっさのくしゃみは袖などでカバーする

【問い合わせ先】

須坂市役所健康づくり課

電話 026-248-9018（課専用）

ファクシミリ 026-251-2459

電子メール s-kenkodukuri@city.suzaka.nagano.jp

